

日 時：令和 2 年 1 月 9 日（木）18 時 30 分 ～19 時 30 分

場 所：杉館集会施設

対象地区：杉館

出席人数：12 名

■要望、質疑応答

内 容
<p>○要望事項の措置状況について</p> <p>（市民から）</p> <p>町会要望した、杉館橋付近の県道の側溝整備について進展はあったのか。</p> <p>（市から）</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・ 県に 9 月に要望書を提出した。杉館地区においては、何年も前から要望をいただいている他の箇所（県道）の側溝の補修についても未実施だが、今回のものは新たに側溝を整備するもので緊急性がある。新年度に入ってから県から回答があるので、分かり次第、お伝えする。</li></ul>
<p>○集会施設を修繕する場合の補助について</p> <p>（市民から）</p> <p>杉館集会施設は平成 14 年に竣工し 17 年あまり経っているため、修繕が必要な箇所が出てきており、昨年は雨漏りの対処をした。今後は外壁の塗装などの必要が出てくると思うが、市の補助事業で利用できるものはあるのか。</p> <p>（市から）</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・ 市の事業はある。町会の負担については、世帯数割など細かく設定している。松館町会では、この事業を活用し集会施設の屋根の塗装を行おうとしたが、費用負担が高くなり断念した。相談いただければ、いくらかかるのか金額をお知らせすることはできる。</li><li>・ 市としては、令和 2 年度までに昭和 57 年以前の古い耐震基準のもとに建てられた集会施設の改築・改修を優先的に進めている。耐震補強の場合は市が全額負担するが、建て替えの場合、町会の負担が発生するため、各町会にはその辺を考慮し、どちらにするか選択してもらっている。</li><li>・ 建築から 30 年が経過すると、大規模改修の制度を活用することもできる。町会の世帯数により異なるが、1 平米あたり上限 8 万円の建築単価で修繕でき、負担は 1 世帯あたり 5 千円となっている。</li><li>・ 当該施設については、消防法の点検で非常用の電気、緊急放送用の電池が引っかけたため、来年度の予算で対応できるよう要求している。</li></ul>

○避難所について

(市民から)

平成 25 年の大雨で引座川の土手が決壊した際、町会が孤立した。全国各地で記録しているような大雨が降った場合、集会施設が浸水する危険性もある。そこで、近くの八幡崎地区の集会施設が避難先として良いのではないかと考えているがどうか。

(市から)

- ・町会の集会施設は一時的な避難所という位置付けであり、大きな災害が想定される場合は学校などが避難所の中心となる。杉館地区の場合、松崎小学校が避難先になると思うが、引座川が決壊した場合行くことができなくなるため検討したいと思う。
- ・新聞報道等でご存知かと思うが、昨年、県の方で平川が氾濫した場合のハザードマップを更新した。千年に一度の大雨に見舞われた場合、このエリアは 2 から 3 メートルの浸水の深さになるという予想であった。これを受けて、市の方でも来年度ハザードマップを更新する予定である。杉館地区の避難ルートも検討するよう総務課に伝える。
- ・昨年の台風 19 号で被害の大きかった宮城県には、1 日あたり 300 から 500 ミリの大雨が降った。青森県は 1 日あたり 150 から 170 ミリの雨が降れば危険だと言われている。このような場合は市で避難指示を出す、自分は大丈夫だと思い、避難せずに取り残されるケースも多いため、即座に避難するようお願いしたい。
- ・新体育館は、避難所として 500 から 600 人を収容可能である。毛布や食料品などが備蓄されるうえ、マンホールトイレを設けてトイレを多く設置している。

○多面的機能支払交付金事業を活用した道路舗装について

(市民から)

避難道路として尾上地域に通じる農道を想定しているが、尾上寄りには舗装されているが杉館寄りには未舗装のため、多面的機能支払交付金事業を活用して舗装を行うことは可能か。

(市から)

- ・多面的機能支払交付金事業については、道路状況が悪い場合、それを埋める程度であれば良いが、未舗装の道路にコンクリートを打つことは認められていない。

(市民から)

長寿命化で工事を実施する場合、申請の際、図面を添付する必要があるが、素人でもでもないが作ることができない。

(市から)

- ・農林課に相談していただければ、協力することはできる。

○納税貯蓄組合の今後のあり方について

(市民から)

納税貯蓄組合の総会に出席したところ、市税等の収入が減少しており、市からの補助金も減少していると報告があった。納税貯蓄組合の役割は重要だと考えているが、市では、コンビニ収納や口座振替を推奨しているようである。そこで、市税の収納について、また、納税貯蓄組合の今後のあり方についてどのように考えているのか教えてほしい。

(市から)

・納税貯蓄組合の数は年々減少している状況である。以前は、補助金等を利用し、研修に行く機会もあったため加入している人も多かったが、平成20年頃に補助金の使い方が全国的に問題化されたため、見直した。最近では、他人に課税状況を知られたくないという人もいるため、コンビニ収納などを活用して収納率向上に努めている。しかし、納税貯蓄組合の存在意義と重要性は変わらずに認識している。

○循環バスの停留所について

(市民から)

循環バスの杉館・松崎線において、アグリアスは停留所となっているのか。

(市から)

・現在のところ、アグリアスは停留所となっていない。

(市民から)

免許返納を考えているが、足がなくなると買い物ができなくなるため確認した。アグリアスに野菜などを買いに来ている高齢者も多いため、できれば乗り換えをせず、直通で行けるようにしてもらいたい。

(市から)

・新本庁舎の完成までに、どういうルートだと多くの人が利用できるのかを検討し、路線の見直しを行う。他の方の意見も聞きながら検討していきたい。  
・現在、西地区まちづくり委員会が、自分たちで杉館・松館線の運営をできないか話し合っている。地元の人が気軽に利用できるよう、市でも応援していきたいと考えている。

○コンパクトシティについて

(市民から)

以前、ある自治体が高齢者など一人暮らしの方に住んでもらうためアパートを建設したというテレビ番組を見た。平川市においても、中心街にそういった施設をつくれば、病院、スーパー、役所なども近く利便性が良いため、需要があるのではないかと思う。市外に流失する人口も少なくなるのではないか。

(市から)

- ・コンパクトシティをつくることは重要な施策ではあると思うが、どれだけ需要があるか分からない。雪片付けの負担が少なくなるなどメリットも多いと思うので、ニーズをとらえるなど検討していきたいと思う。

○ふるさと納税の返礼品について

(市民から)

平川市のふるさと納税の返礼品としては、やはり、りんごが人気なのか。

(市から)

- ・一番人気があるのはりんごで返礼品の約 8 割を占めている。その他には、桃、米も人気である。平成 30 年度の受入額は約 4 億 4 千万円で県内では一番であった。
- ・今年度、国から通達があり、返礼品や送料などにかかる経費を 50 パーセント以内に収めなければいけなくなった。これまでは約 60 パーセントかかっていたため、寄付金額を上げることにより対応している。

○引座川の改修について

(市民から)

国の方から、引座川の改修が来年度で終わると説明があったが、川底が上がっており、大雨が降ったときに危険だと感じる。その辺も対処してもらえないか。

(市から)

- ・平川では、土砂等が川底に堆積していることが多い。県に泥上げの要望はしているが、維持管理に関する予算は付きにくいようである。平川市では、年に 3 箇所ぐらいのペースで実施している状況である。
- ・東北市長会の副会長として、国の方に河川改修について要望に行った。今年の台風でもそうだったが、下流で水をのみこめないことにより逆流が起き、被害が発生しているため、河道掘削が主体になると思う。しかし、地域により状況が異なるため、現場を見ながら今後もお願いをしていきたいと思う。